

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	人吉市	代表者名	松岡 隼人
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	復興政策部情報政策課
担当者役職	主任	担当者氏名	西 香織
住所	868-8601 熊本県人吉市西間下町7番地1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	スマートシティ推進等に関する研修
概要	令和4年度に策定したスマートシティ推進計画(DX推進計画を包含)を推進するに当たり、退職等に伴いメンバーが交代しているトップ層(今年度は次長級も含める。)に対する講演等を通じた意識醸成を改めて行うとともに、各課職員(各課長の推薦者を想定)に対し、生成AI活用をテーマに実践型研修(活用方法の事例発表などを想定)を実施する。*生成AI活用実証は生成AI活用人材(DX推進のための機運の醸成)人材(DXに関する知識習得・研修・育成)スマートシティ		
支援を求める分野	生成AI活用人材(DX推進のための機運の醸成)人材(DXに関する知識習得・研修・育成)スマートシティ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	216	令和6年10月22日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月29日	支援・助言&講演(実地)	10時00分	15時30分	150
				活動時間(分)	180

2-2. 派遣場所	会場名	人吉市役所	最寄駅	鹿儿島空港→人吉IC
	所在地	人吉市西間下町7番地1	最寄駅からの交通手段	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	スマートシティ推進計画に基づき、デジタルを活用して住民の利便性向上と業務改善を同時に実現する取組を推進している本市において、機運醸成となる講演を依頼できた。午前中には1日目に引き続き、部長級・次長級を対象に、生成AIの現状を実際に操作しながらお話しいただき、職員数が減少する中で住民の利便性を向上するために、これからの管理職に求められるマネジメント(生成AIを活用する職員のマネジメント)について理解が深められた。また、午後からは各課の情報化推進リーダーを対象に、実務における生成AIの活用方法をはじめ、生成AIなどのデジタルを活用することで効率化した時間を企画政策立案等に向けてることによって市民サービス向上につなげるといった意識付けを行うことができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	34人
	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	34	0
		0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	令和4年度に策定したスマートシティ推進計画(DX推進計画を包含)を推進するに当たり、同年度に首長から一般職までの階層別研修を行い、庁内における意識醸成を行った。その際のアンケート結果から、具体的な事例や方法がイメージしづらいとの意見があったことから、令和5年度にはDX/スマートシティコンテストを実施した。スマートシティ、DXの推進には息の長い取組が必要であり、退職等に伴いメンバー交代しているトップ層(部長級・次長級)に対する意識醸成を改めて行う必要がある。また、DX/スマートシティコンテストで提案された内容の具体化に向けて生成AI活用の実証を行う予定だが、新たな取組を単なるツールの導入検討にとどまらず、正しい理解のもと全庁的な活用につなげるにはアドバイザーの支援・助言等が必要である。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	トップ層(部長級・次長級)が、デジタル(生成AI)が行政の高度化・効率化に資する可能性があることを共通認識した上でマネジメントに対する意識を高め、全庁的な活用につなげていくための機運を醸成する。各課の情報化推進リーダーが、デジタル(生成AI)を実証的に活用する中で、各課における生成AIの活用事例を創出することで業務の効率化を図り、全庁的な活用につなげていくための機運を醸成する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	部長級・次長級を対象に、生成AIの現状などについて実際に操作しながらお話しいただいた。職員数が減少する中で住民の利便性を向上するために、これからの管理職に求められるマネジメント（生成AIを活用する職員のマネジメント）についてアドバイスいただいた。 各課の情報化推進リーダーを対象に、実務における生成AIの活用方法をはじめ、生成AIなどのデジタルを活用することで効率化した時間を企画政策立案など、より高度な業務に向けることによって市民サービス向上につなげるという意識付けをしていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	生成AIが行政の高度化・効率化に資する可能性があることを目の前の画面で見せていただき、トップ層（部長級・次長級）には生成AI時代のマネジメントに対する意識が高まり、全庁的に取り組んでいく機運が醸成された。 また、同様に、各課の情報化推進リーダーには、実務における生成AIの活用イメージを共有していただくとともに、生成AIなどのデジタルを活用することで効率化した時間を企画政策立案など、より高度な業務に職員のリソースを向けることの意識を高めることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の生成AI実証事業を受け、活用事例、ガイドラインを第3回に向けて作成予定。また、今回はあくまでも生成AIの実証事業であったため、今後は実装に向けた予算要求を検討していく。引き続き、全庁的にデジタル（今回は生成AI）を活用することで「行政の高度化・効率化」を実現し、市民の利便性向上及び職員の業務効率化につなげていきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	当市は、スマートシティ推進計画に基づき、デジタル技術を手段として最大限活用することで、地域課題の解決や地域経済の活性化を図り、「市民みんなが幸せを感じるまち ずっと住み続けたいまち 未来へ挑戦できるまち」を創ることを目標としている。その最終目標を目指すため、同計画の基本方針の一つに、ICT等の新技術を活用し、「行政の高度化・効率化」を図ることにより、市民の利便性向上と職員の負担軽減を同時に実現する取組を推進することとしている。本事業において、アドバイザーから支援を受けることによって、トップ層のデジタル化（今回は生成AI）に対する意識醸成・確保、さらに生成AIを活用（実証）することで「行政の高度化・効率化」を実現し、市民の利便性向上及び職員の業務効率化につなげる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

